

PA-526 EFR ブレード

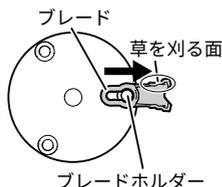


- ・本品は対応機種専用です。他の目的に使用しないでください。
- ・草刈機の取扱説明書を必ずよくお読みのうえご使用ください。

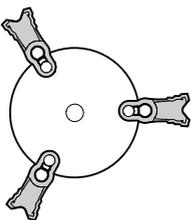
① ご使用前に

取り付け方

- 1) ブレードの中心部を、ブレードホルダーの上からしっかりとさし込み、ブレードを外側にスライドさせる



- 2) 他の2箇所も同様に取り付ける

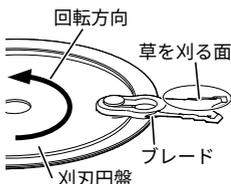


ブレードが削れてきたら

ブレードは草を刈る面が2面あります。草を刈る面の摩耗マークが削れて見えなくなったら、ブレードを裏返して取り付けてください。



摩耗して切れ味が悪くなったブレードで刈り続けると、本機に過負荷がかかり故障のおそれがあります。



- ・ブレードを取り外し、未使用の面を刈刃円盤の回転方向に注意して取り付ける

ブレードを裏返して、草を刈る面が必ず刈刃円盤の回転方向側になるようにします。

② 服装について

作業時は石やゴミを巻き上げたり、本機の回転部に巻き込まれるなどしてケガをするおそれがあります。

次のような安全な服装で作業を行ってください。

※手袋や帽子は付属していません。別途ご用意ください。

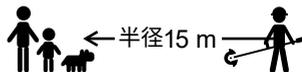


③ 草刈時のチェックポイント



半径 15 m 以内に人や動物がいないことを確認する

歩道など通路の場所を確認してください。



小石や空き缶など障害物、地面の凸凹が草に隠れていないか確認する

飛散すると危険ですので、取り除いてください。



傷をつけたくない物が近くにないか確認する

飛散した障害物でガラスが割れたり、傷がつくおそれがありますので、板などで養生するか、移動させてください。



作業中にブレードに異常が発生したときは、草刈機のバッテリーを取り外し回転が止まったことを確認し、点検、交換を行ってください。

④ 草刈りのポイント

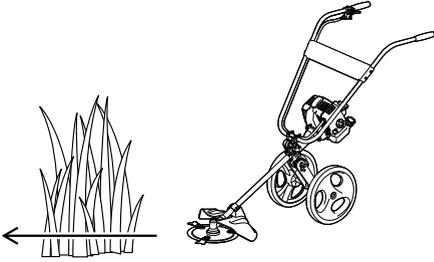
■ スロットルレバー

作業中は、レバーは深く握るか、全く握らないかのどちらかにしてください。途中までレバーを握った状態（≒半クラッチ）で刈刃円盤をゆっくり長時間回し続けると、本機が故障するおそれがあります。

刈り方①：

通常の草の刈り方

刈刃円盤を軽く地面に置くようにして滑らせて前進し、草を刈り進めてください。

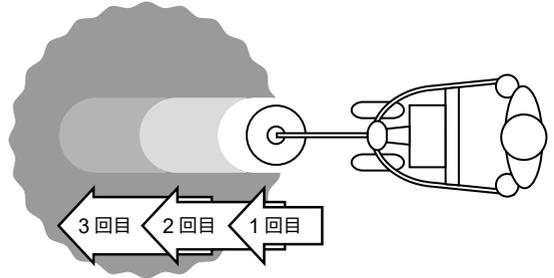


刈り方②：

密集した草や、長く伸びた草の刈り方

密集した草や伸びた草は前進だけでは進みにくくなることがあります。

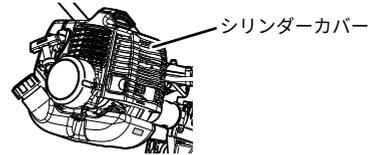
本機を前後させながら、前進時に草を刈り進めてください。



ここがポイント！

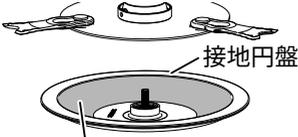
- ・草刈り中にエンジン回転数が下がり、音が高音から低音に変化したら過負荷状態です。過負荷状態が続くと故障のおそれがあります。エンジン音に注意し、刈り方①②を状況に合わせて使い分けながら、作業してください。

- 熱によりシリンダーカバーが変色する場合がありますが、ご使用に問題ありません（故障ではありません）。



⑤ お手入れについて

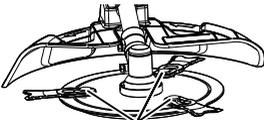
■ 接地円盤



付着した草やゴミ

接地円盤を取り外し、刈刃円盤との間に付着した草やゴミを取り除いてください。

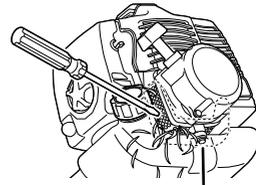
■ ブレードホルダーとその周囲



ブレードホルダー

付着した草やゴミを取り除いてください。

■ 冷却風取入口



冷却風取入口

ときどきドライバーなどで付着した草やゴミをかき出すように取り除いてください

エンジンが十分に冷えてから行ってください。